

2月13日(日)、20日(日)

総合司会

足立 満 (あだち みつる) 先生

国際医療福祉大学臨床医学研究センター 教授 / 山王病院 アレルギー内科
公益財団法人日本アレルギー協会 理事長

【略歴】

1971年3月	昭和大学医学部卒業
1971年4月	昭和大学医学部第1内科学入局
1979年7月	山梨赤十字病院内科部長
1980年8月	昭和大学医学部第1内科専任講師
1989年4月	昭和大学医学部第1内科学助教授
1989年5月	ロンドン大学 Royal post graduate medical school 臨床薬理学教室研究員
1993年4月	昭和大学医学部第1内科学主任教授
2008年4月～2012年3月31日	昭和大学医学部内科学講座呼吸器・アレルギー内科部門教授
2011年2月～2016年	日本大学医学部呼吸器内科学客員教授
2012年4月～現在に至る	呼吸器・アレルギー疾患研究所所長
2012年6月～現在に至る	国際医療福祉大学臨床医学研究センター教授 山王病院アレルギー内科
2018年6月～現在に至る	公益財団法人日本アレルギー協会理事長

【役職】

日本アレルギー学会理事(1996～2013)、常務理事(2005～2013)、監事(2013～2017)、現名誉会員。

日本アレルギー学会喘息予防・管理ガイドライン作成委員(1993～2015) 現顧問(2015～)

日本アレルギー協会評議員、理事(2000～2016)、関東支部長(2016～2018)

日本職業・環境アレルギー学会理事

日本内科学会評議員(1994～2007、2009～2011) 現功労会員

日本呼吸器学会代議員(1996～2012) 現功労会員

国際喘息学会日本・北アジア部会 現幹事

ICACI(International Congress of Allergy and Clinical Immunology)

Executive committee member(1997～2000)

International Congress of Asthmology 日本部会幹事

第10回 International Congress of Asthmology 日本北アジア部会会長

第11回 International Congress of Asthmology 日本北アジア部会会長

第52回日本アレルギー学会総会会長

第10回気道上皮アレルギー研究会会長

第43回日本職業・環境アレルギー学会会長

【専門】

臨床アレルギー学、呼吸器病学

特に気管支喘息の病態生理・治療

2月13日（日）

講演1：「新型コロナウイルス感染症：日本の現状と問題点」

放生 雅章 （ほうじょう まさゆき）先生

略 歴

主な職歴

1987年 北海道大学医学部 卒業
国立病院医療センターにて初期・後期研修
1992年 国立国際医療センター国際協力局派遣協力課 厚生技官
1995年 カナダ・マギル大学ミーキンス・クリスティ研究所 研究員
2002年 国立国際医療センターアレルギー科 医員
2010年 国立国際医療研究センター国分台病院呼吸器内科 科長
2013年 国立国際医療研究センター病院第2呼吸器科 医長
2016年 NTT 東日本関東病院呼吸器センター センター長
2019年 国立国際医療研究センター病院呼吸器内科 診療科長

所属学会

- ・日本内科学会（評議員）
- ・日本呼吸器学会（統括専門医制度委員会委員、ガイドライン施行管理委員会、COPD ガイドライン第6版編集委員）
- ・日本アレルギー学会（喘息管理・予防ガイドライン2018、2021作成委員、COVID-19対策特別委員会委員）

2月13日(日)

講演2:「アレルギー疾患と新型コロナワクチンの副反応」

山口 正雄 (やまぐち まさお) 先生

帝京大学ちば総合医療センター 第三内科(呼吸器) 教授

略 歴

学歴・職歴

昭和62年	東京大学医学部医学科 卒業
昭和62年	東京大学医学部附属病院内科 研修医
昭和63年	日立製作所日立総合病院内科 研修医
平成 1年	東京大学医学部附属病院物療内科 医員
平成 6年	米国ボストン Beth Israel Hospital 病理学研究者
平成10年1月	山梨県立中央病院アレルギー内科 医長
平成10年7月	東京大学医学部附属病院アレルギー・リウマチ内科 助手
平成20年	同 講師
平成21年	帝京大学医学部内科学講座 呼吸器・アレルギー学 准教授
平成23年	同 教授
令和 2年	帝京大学ちば総合医療センター 第三内科(呼吸器) 教授
令和 3年	同 副院長補佐 兼任

2月13日(日)

講演3:「小児における新型コロナウイルス感染症とその対策」

吉原 重美 (よしはら しげみ) 先生

略 歴

略歴

- 1983年 獨協医科大学医学部 卒業
- 1983年 同大学小児科学教室 入局
- 1987年 静岡県立大学薬学部(生物薬品科学教室; 矢内原研究室) 研究員
- 1989年 獨協医科大学小児科学 助手
- 1990年 同大学小児科学 講師
- 1993年 カルフォルニア大学サンフランシスコ校(Jay.A.Nadel 研究室) 留学
- 2004年 獨協医科大学小児科学 准教授
- 2017年 同大学小児科学 主任教授
同大学病院とちぎこども医療センター センター長
- 2018年 同大学病院アレルギーセンター センター長
- 2020年 同大学病院 副院長
- 2021年 日本小児アレルギー学会 理事長

著書

1. いま知っておきたい食物アレルギー30、吉原重美編集、診断と治療、東京、2017
2. 小児の咳嗽診断ガイドライン 2020、日本小児呼吸器学会作成、吉原重美他監修、診断と治療社、東京、2020
3. 小児RSウイルス呼吸器感染症診療ガイドライン 2021、日本小児呼吸器学会/日本新生児成育学会作成、吉原重美他監修、協和企画、東京、2020

2月13日(日)

講演4:「妊婦における新型コロナウイルス感染症の対策」

早川 智 (はやかわ さとし) 先生

略 歴

学歴

- 1983年 日本大学医学部卒業
- 1987年 日本大学大学院修了(医学博士)
- 1985~86年 米国 City of Hope 研究所生殖遺伝学部門にて大野乾博士に師事

職歴

- 1986年 日本大学助手(産婦人科学無給)
- 1992年 同 助手、第二病理学教室出向
- 1997年 同 講師(専任扱)国立感染症研究所エイズ研究センター研究員併任
- 2004年 日本大学医学部助教授(先端医学講座・感染制御科学)産婦人科併任
- 2007年 日本大学医学部病態病理学系微生物学分野教授

所属学会

- 2007年 日本生殖免疫学会 理事
- 2009年 日本感染症学会東日本 理事(2017年まで)
- 2013年 日本産婦人科感染症学会 理事(2019年以降 副理事長)
- 2015年 日本臨床免疫学会 理事(2019年以降 監事)
- 2019年 日本臨床腸内微生物学会 理事

専門医等

- 日本産科婦人科学会 専門医
- 日本臨床免疫学会免疫療法 認定医

研究領域

生殖免疫学、感染免疫学、産婦人科感染症、医学史

著書

- 「戦国武将を診る;歴史を彩った主役たちの病」、朝日新聞出版
 - 「ミューズの病跡学I音楽家編」、「ミューズの病跡学I美術家編」、「源頼朝の歯周病—歴史を変えた偉人たちの疾患」、診断と治療社
 - 「City of Hope 物語 木下良順と大野乾」、人間と歴史社
 - 「今日の治療指針2015(分担執筆)」、標準微生物学12版、13版、14版、15版(分担執筆)」、
 - 「今日の診断指針2017、2019、2021(分担執筆)」、医学書院
 - 「産科婦人科臨床3 分娩・産褥期の正常と異常/周産期感染症(分担執筆)」、中山書店
 - 「新型コロナウイルス感染症 診断の手引き Ver4,5,6」厚生労働省
- ほか

2月20日(日)

講演1:「花粉症2022年の動向とその対策」

岡野 光博(おかの みつひろ)先生

略歴

略歴

- 平成元年 3月 香川医科大学 卒業
同年 4月 岡山大学大学院医学研究科 入学(平成5年3月修了)
耳鼻咽喉科 入局
5年 1月 鳥取市立病院耳鼻咽喉科 医員(～7年9月)
7年 11月 米国ハーバード大学公衆衛生学部免疫感染症学講座 客員研究員
(～10年3月)
10年 4月 岡山大学医学部附属病院 助手(～15年3月)
15年 4月 岡山大学大学院医歯学総合研究科耳鼻咽喉・頭頸部外科学 講師
16年 11月 岡山大学大学院医歯学総合研究科耳鼻咽喉・頭頸部外科学 助教授
(19年4月より准教授)
29年 4月 国際医療福祉大学医学部耳鼻咽喉科学 教授
岡山大学客員教授
29年 11月 国際医療福祉大学大学院医学研究科耳鼻咽喉科学 教授(併任)
令和2年 4月 国際医療福祉大学成田病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科 部長(併任)
- 平成5年 3月 医学博士
12年 9月 第7回日本鼻科学会学会賞 受賞
14年 5月 岡山医学会賞(砂田賞) 受賞
18年 12月 第10回日本ヒスタミン研究会 和田賞 受賞
25年 11月 平成25年度日本医師会医学研究奨励賞 受賞
27年 11月 Outstanding Reviewer, Auris Nasus Larynx

所属学会

- 日本耳鼻咽喉科学会(専門医、専門研修指導医、会誌編集委員会委員、倫理委員会委員)
日本アレルギー学会(代議員、Allergology International 編集委員会委員、
アレルギー・免疫療法委員会委員ほか、指導医)
日本鼻科学会(理事、国際委員会委員長ほか)
日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー感染症学会(理事、鼻アレルギー診療ガイドライン委員
会副委員長ほか)
日本職業・環境アレルギー学会(理事・評議員)
日本頭頸部外科学会(理事)
日本嚥下学会(評議員)
日本耳科学会
日本口腔咽頭科学会
日本免疫学会
日本花粉学会など

著書

1. 抗トロンボキササン A2・プロスタグランジン D2 薬、最新医学別冊 診断と治療の ABC、アレルギー性鼻炎、岡野光博ほか、最新医学社、大阪、2017
2. 副鼻腔炎、今日の治療指針 2019、医学書院 (in press)
3. アレルゲン免疫療法：皮下免疫療法、今日の治療指針 2021、医学書院、東京、2021
4. 花粉症・アレルギー性鼻炎診療の実際、アレルギー診療必携ハンドブック、岡野光博ほか、中外医学社、東京、2021
5. アレルギー性鼻炎、今日の治療指針、医学書院、2020
6. 鼻アレルギー診療ガイドラインー通年性鼻炎と花粉症ー2020、日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会鼻アレルギー診療ガイドライン作成委員会、ライフ・サイエンス出版、東京、2020

2月20日（日）

講演2：「アトピー性皮膚炎の最新治療」

片岡 葉子（かたおか ようこ）先生

地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪はびきの医療センター副院長、
皮膚科主任部長、アトピー・アレルギーセンター長

略 歴

略歴

1983年	広島大学医学部 卒業
同年	広島大学医学部附属病院皮膚科 研修医
1985年	大阪船員保険病院皮膚科 医員
1996年	大阪府立羽曳野病院皮膚科 医長
1999年	同 皮膚科部長
2006年	同 皮膚科主任部長
2011年	同 アトピー・アレルギーセンター長（兼任）
2017年4月	同病院改称 大阪はびきの医療センター
2019年4月	同 診療局長（兼任）
2021年4月	同 副院長（兼任）

おもな所属学会

日本皮膚科学会（専門医）（代議員）
日本アレルギー学会（専門医・指導医）（代議員）
日本心身医学会（専門医）
日本うつ病学会
日本皮膚免疫アレルギー学会（理事）
日本皮膚科心身医学会（理事）
アトピー性皮膚炎治療研究会（事務局長）
European Society for Dermatology and Psychiatry
European Academy of Allergy and Clinical Immunology

専門

アトピー性皮膚炎、接触皮膚炎、皮膚アレルギー、膠原病、皮膚心身医学等

2月20日(日)

講演3:「食物アレルギー最近の傾向と対策」

大矢 幸弘 (おおや ゆきひろ) 先生

略 歴

略歴

- 1985年 名古屋大学医学部 卒業
- 同年 半田市立半田病院 研修医
- 1986年 名古屋大学医学部小児科 (87年~90年大学院)
- 1991年 国立名古屋病院小児科 医員 (1995年ハーバード心身医学研究所短期留学)
- 1995年 国立小児病院アレルギー科 医員
(1997年~2002年ロンドン大学聖ジョージ医学校公衆衛生科学部上級研究員
を併任し毎年短期渡英)
- 2002年 国立成育医療センター・第一専門診療部アレルギー科 医長
- 2010年 独立行政法人国立成育医療研究センター生体防御系内科部アレルギー科 医長
- 2011年 エコチル調査メディカルサポートセンター 特任部長併任
- 2018年 国立研究開発法人国立成育医療研究センター・アレルギーセンター長
同研究所エコチル調査研究部代表併任
エコチル調査メディカルサポートセンター長

資格・学会活動等

- 日本アレルギー学会 理事・指導医
- 日本小児科学会 専門医・指導医
- 日本心身医学会 専門医
- 日本疫学会 上級疫学専門家
- 日本小児アレルギー学会 理事
- 日本行動医学会 理事
- 日本健康心理学会 編集委員 前理事
- 日本認知行動療法学会 編集委員
- 日本子ども健康科学会 理事長
- ほか

著書等

- 子どものアレルギー: アトピー性皮膚炎・食物アレルギー・ぜんそく、文藝春秋、2017

2月20日(日)

講演4:「気管支喘息の最新治療～成人から高齢者まで～」

田中 明彦(たなか あきひこ)先生

准教授・診療科長・医学博士

昭和大学医学部内科学講座呼吸器・アレルギー内科部門

略 歴

学歴・職歴

- 1997年 3月 昭和大学医学部 卒業
- 1999年 4月 湯河原厚生年金病院(現 JCHO 湯河原病院) 医員
- 2001年 3月 昭和大学大学院医学研究科臨床系第一内科学修了(医学博士)
- 2001年 4月 せんぼ東京高輪病院内科(現 JCHO 東京高輪病院) 医員
- 2003年 4月 昭和大学医学部第一内科学教室 員外助手
- 2005年 4月 昭和大学歯学部内科学教室 助教
- 2006年 11月 米国 University of Pittsburgh 留学
- 2008年 1月 米国 Harvard University, Brigham and Women's Hospital 留学
(留学は共に Augustine M.K. Choi lab)
- 2008年 11月 昭和大学医学部 呼吸器・アレルギー内科学教室 助教
- 2011年 4月 昭和大学医学部 呼吸器・アレルギー内科学教室 講師
- 2017年 4月 昭和大学医学部 呼吸器・アレルギー内科学教室 科長補佐
- 2020年 4月 昭和大学医学部呼吸器・アレルギー内科学教室 准教授(～現在)
- 2020年 4月 昭和大学医学部呼吸器・アレルギー内科学教室 診療科長(～現在)

主な資格・役職

日本内科学会総合内科専門医、同指導医、日本呼吸器学会専門医、同指導医、日本アレルギー学会専門医、同指導医、日本アレルギー学会代議員(任期:2013年5月～現在)、喘息予防・管理ガイドライン(JGL)2015,2018,2021作成委員、喘息診療実践ガイドライン2021作成委員、日本アレルギー学会資格審査委員(任期:2019年6月～現在)、同副委員長(任期:2020年6月～現在)、第68回日本アレルギー学会学術大会事務局長(2019年)

所属学会

日本内科学会、日本呼吸器学会、日本アレルギー学会、米国胸部疾患学会(ATS)、日本感染症学会、日本呼吸器内視鏡学会、日本結核学会

専門

呼吸器、気管支喘息(喘息病態、重症喘息治療)、肺傷害

おもな論文(英文) 合計79報(症例報告8報含む)

1. Tanaka A, Sato H, Akimoto K, Matsunaga T, Sagara H. Spontaneous sputum discriminates inflammatory phenotypes in patients with asthma. *Ann Allergy Asthma Immunol.* 2021 Jan;126(1):54-60.e1
2. Tanaka A, Tohda Y, Okamiya K, Azuma R, Terada I, Adachi M. Efficacy and safety of HDM SLIT-tablet in Japanese adults with allergic asthma. *J Allergy Clin*

Immunol Pract. 2020;8(2):710-720.e14

3. Tanaka A, Uno T, Sato H, et al. Predicting future risk of exacerbations in Japanese patients with adult asthma: A prospective 1-year follow up study. *Allergol Int.* 2017;66(4):568-573.
4. Tanaka A, Fujiwara A, Uchida Y, et al. Evaluation of the association between sensitization to common inhalant fungi and poor asthma control. *Ann Allergy Asthma Immunol.* 2016;117(2):163-168.
5. Tanaka A, Suzuki S, Ohta S, et al. Association between specific IgE to *Staphylococcus aureus* enterotoxins A and B and asthma control. *Ann Allergy Asthma Immunol.* 2015;115(3):191-197.
6. Tanaka A, Jinno M, Hirai K, et al. Longitudinal increase in total IgE levels in patients with adult asthma: an association with poor asthma control. *Respir Res.* 2014;15:144.
7. Tanaka A, Jin Y, Lee SJ, et al. Hyperoxia-Induced LC3B Interacts with the Fas Apoptotic Pathway in Epithelial Cell Death. *Am J Respir Cell Mol Biol.* 2012;46:507-14.
8. Tanaka A, Minoguchi K, Chen X, et al. Activated protein C attenuates leukocyte elastase-induced lung injury in mice. *Shock.* 2008;30(2):153-8.
9. Tanaka A, Minoguchi K, Samson K.T., et al. Inhibitory effects of suplatast tosilate on the differentiation and function of monocyte-derived dendritic cells from patients with asthma. *Clin Exp Allergy.* 2007;37(7):1083-9.
10. Tanaka A, Minoguchi K, Oda N, et al. Inhibitory effect of lidocaine on T cells from patients with allergic asthma. *J Allergy Clin Immunol.* 2002;109(3):485-90.

おもな論文（邦文） 合計 29 報

1. 相良博典, 田中明彦, 大田進, 他. 気管支喘息患者に対する SK-1211 (メタコリン塩化物) を用いた気道過敏性検査の有効性および安全性. *アレルギー* 65 (1), 32-40, 2016
2. 田中明彦, 足立満. 気管支喘息: 診断と治療の進歩 (治療の変遷). *日本内科学会誌* 102, 1327-32, 2013
3. 山口宗大, 田中明彦, 横江琢也, 他: 喘息コントロールに影響を与える季候についての検討. *アレルギー* 62 (2), 171-178, 2013

おもな総説（邦文） 合計 47 報

1. 田中明彦: スギ花粉症と喘息の関係. *Medical Practice* 36 (1), 1853-1857, 2019
2. 田中明彦: 症例から考える重症喘息に対する生物学的製剤の使い分け. *呼吸器ジャーナル 喘息・COPD* 67 (2), 316-321, 2019
3. 田中明彦: 喘息における分子標的治療 抗 IgE 抗体: オマリズマブ. *医薬ジャーナル* 42 (11), 81-84, 2018

おもな著書（邦文） 合計 14 冊

1. 田中明彦, 他多数 (福井 次矢, 高木 誠, 小室 一成): 昆虫アレルギー. 今日の治療指針 2019 私はこう治療している vol.61. 836-838, 2019 年 1 月, 医学書院, ISBN 978-4-260-03650-4
2. 田中明彦, 他多数: 日本アレルギー学会 ダニアレルギーにおけるアレルギー免疫療法の手引き作成委員会 (担当: 分担執筆, 範囲: アトピー型喘息の病態, ダニアレルギーによるアトピー型喘息の診断). 日本アレルギー学会 ダニアレルギーにおけるアレルギー免疫療法の手引き. 2018
3. 田中明彦, 他多数 (編集: 長瀬洋之) 抗 IgE 抗体と抗 IL-5 抗体をどう使い分けるか. 呼吸器疾患の薬物療法を極める. 50-53, 2018